

の人々が毎年うける精神的ショックは拭いきれないであろうと思う。現場からの話と現に例年直接撮影をうける教職員と面接指導の際に斯様な意見を聞く。

此処数年の間に医学の目まぐるしく又喜ばしい程の発展と化学療法の向上に依って結核発病と結核による休職者は年々再々減少して来たことは衆知の事実である。

これは教職員の結核に対する認識の向上と是を管理している出張所、現場の良りよい理解と嚴重な復職診査に依って培われて来た為であると思う。

結核減少策については変らない。即ち

(1) 新規採用時に於て発病の怖れのあるもの、又虚弱なもの、現に罹患しあてているもの、過去に於て結核性疾患に罹患したもの、及び肺結核の外科的治療をなしたるもの等は原則として認めない事に内規を定めている。

(2) 復職者については充分な療養をなし、再発の怖れのなくなるまで治療を行い、復職して充分一般教職員と活動出来得る身体的条件にならなければ結核審査会に諮問しない。又結核審査会は嚴重な基準を定めそれに則って行っている。

(3) 現職者に於ては要注意者(C~2取扱いのもの)よりの発病防止をはかる。これはC~2に該当する教職員が県下に約750名位存在するので重点的に此等の人々を管理して行く。

以上の観点から今年も管理して来たのであるが実績が挙がりつつある。

B 一般疾病及び精神性疾患について

此処2、3年に於て一般疾病に依る休職休職の病名別分類をして見るに成人病と並んで増加の傾向を示すのは精神病である。一般休職者の中の約25%は此種疾病に依る事は県当局として考案せねばならない。その為に今年

度は精神病教職員の復職については殊に慎重を期し県下の精神病専門医の打合協議会を開催し、略その原案を作成するに至った。一見此種精神病に罹患した者は復職しても一般教職員の中に混り、又教壇に立ってはたして信頼すべき教職員を完うし得かる、如何についての調査も必要と感ぜられる。来年度は試金石として此点の管理について研究して行きたい。

成人病についても最近の国民疾病罹患と同様増加の傾向を示し、高血圧、心臓、療等の疾病に依る休職者が多くなっている。此等の対策としては財政的裏付けをもって(多額の健康管理費をもって)当らなければならないと思うので今後研究をすすめて行きたい。現に民間会社や団体に於ては今年度より着々実施して来ている様である。40才以上の教職員に於ては毎年1回の精密検査をうける様な制度対策を考案して行き来年度はモデルケースを作りそれが管理にあたりたい。

4 学校体育

昭和35年度における学校体育の重点は第一には、学校体育指導者養成実技講習の開催によって、体育実技の指導能力を高め、さらに各出張所ごとに指導の強化をはかることであつた。回を重ねること三回、この講習会は大きな成果を得て終了したこと。第二は、16の研究指定校を研究センターとして学習指導の研究であつたべが、献身的な各研究校の熱意と努力による公開授業を中心として、諸問題の解明や研究討議が真剣になされたので、体育科学学習指導は大いに深みを増し、指導者に自信と励みを与え、県下全般の研究意欲がもり上がり、その成果は誠に顕著であつた。

A 本県における児童生徒の体位の概況

第一表 (男) 児童・生徒の年令別発育年次状況

区分	年 度	小 学 校						中 学 校			高 等 学 校				
		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
身 長	昭 23	108.1	112.8	117.5	121.9	126.1	130.0	134.9	139.5	145.8	154.8	158.3	160.5	—	—
	30	109.6	115.0	119.6	124.6	129.3	133.6	138.1	144.1	150.3	158.3	161.0	162.9	162.7	162.6
	35	111.2	116.2	121.4	126.1	130.8	135.1	140.5	146.5	153.5	160.2	162.4	164.3	164.5	163.3
	全国34	111.3	116.6	121.6	126.5	131.2	135.9	141.0	147.9	154.3	160.6	163.2	164.5	165.3	—
体 重	昭 23	18.5	20.1	22.0	24.0	26.1	28.2	31.2	34.2	38.9	45.7	49.3	51.6	—	—
	30	15.5	20.6	22.4	24.9	27.8	29.7	32.8	37.0	42.1	49.2	51.8	54.3	55.2	55.5
	35	18.8	20.9	23.0	25.1	27.7	30.3	33.9	38.3	44.5	50.3	53.9	55.5	56.3	57.1
	全国34	18.8	20.9	23.1	25.4	27.8	30.5	34.3	39.4	45.0	50.6	53.8	55.9	56.7	—
胸 囲	昭 23	56.0	57.7	59.6	61.3	63.0	64.7	66.8	69.0	72.3	77.0	79.6	81.8	—	—
	30	55.8	58.0	59.7	62.0	63.9	65.7	68.5	71.6	72.2	78.8	81.4	83.2	84.2	84.2
	35	56.3	58.2	60.1	61.8	63.8	65.8	68.4	71.5	76.0	80.3	82.4	84.0	85.2	85.3
	全国34	56.4	58.2	60.1	62.0	63.9	66.0	68.4	72.1	76.1	79.8	82.5	84.0	84.5	—